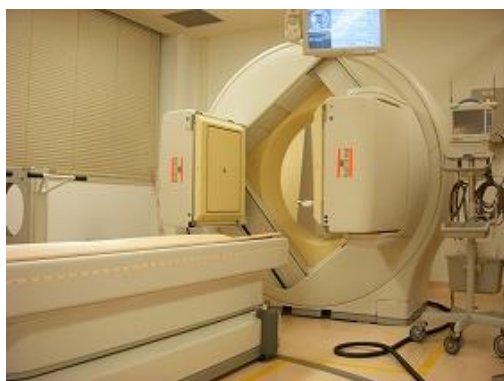


核医学検査

核医学検査(RI)とは？

核医学検査とは、放射線(ガンマ線)を放出する薬(放射性医薬品)を注射などによって投与し、体外から特殊なカメラ(ガンマカメラ)で撮像を行い、臓器の形や血流、機能を調べる検査です。



体への影響について

核医学検査で受ける放射線の量は、胸や胃のX線検査と同程度です。

また、放射線の量自体も時間と共に減少し、体外へ尿や便として放出される為、体への影響は心配ありません。

ただし、つぎのような方はあらかじめ医師にお知らせください。

- ・ 妊娠中、または妊娠している可能性がある女性
- ・ 授乳中の女性（数日間～数週間、赤ちゃんに母乳を与えるのを避けたほうがよい場合があります）
- ・ 乳幼児がいる女性（赤ちゃんを抱くのを半日程度は避けたほうがよい場合もあります）

また、薬による副作用はほとんどありません。

検査時間

核医学検査には、心臓、脳、骨、腎臓など臓器別に多くの検査の種類があり、それぞれ検査時間が異なります。

短い検査では30分、長くても1時間程度ですが、検査によっては1日2回、あるいは別の日に分けて行う場合もあります。

当院で行っている代表的な核医学検査

・心筋シンチ

虚血性心疾患をはじめ、様々な心疾患の心血流状態を把握することができます。

エルゴメータとよばれる自転車での運動や、薬剤(血管拡張剤)を用いて心臓に負荷をかけると

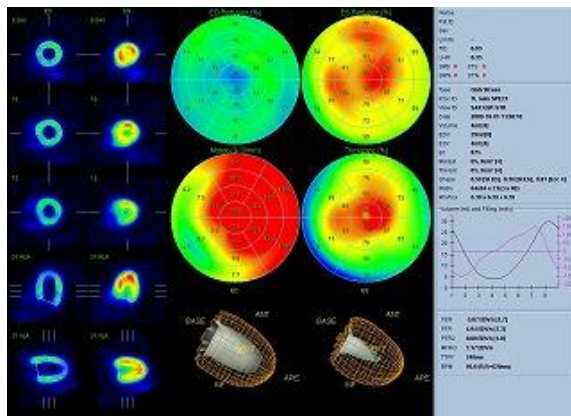
同時に放射性医薬品を注射します。

撮像は、負荷終了後と安静時(約4時間後)の2回行います。

撮像はいずれも心電図同期で行います。

検査時間はそれぞれ30分程度です。

当検査には食事制限など、注意点がございましたので、予約時にお知らせします。



・脳血流シンチ

局所的な脳血流の評価が可能であり、脳血管障害や認知症の鑑別診断に有用です。

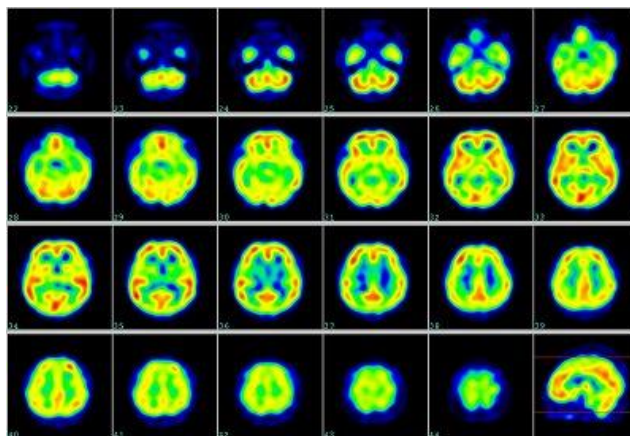
血管(静脈)より放射性医薬品を投与し、その後専用の装置で撮像を行います。

投与時、閉眼していただくことがあります。

検査時間は30分から1時間程度ですので、検査前に排尿をお願いします。

薬剤(血管拡張剤)を用いて検査を行う場合もあります。

当検査に食事制限はありません。



・骨シンチ

転移性・原発性骨腫瘍、炎症、骨折等の各種骨疾患に有用です。

血管(静脈)より放射性医薬品を投与し、2~3時間後以降に撮像を行います。

検査時間は30分程度です。

投与した放射性医薬品は、尿中に排泄されるので、検査前に排尿をお願いします。

